

第3回町議会定例会

令和4年第3回町議会定例会が、9月8日に開かれ、16日に閉会しました。
この町議会定例会では、木幡町長の行政報告のあと、議案12件、認定8件、承認2件、報告2件等について審議しました。
主な内容は、次のとおりです。

産・育児等と仕事の両立支援のために講じる措置として、育児休業等の取得要件の緩和、育児参加のための対象期間の拡大などの措置が講じられており、地方公共団体においても準じた措置を講じる必要があるため条例の一部を改正するものです。

◆令和3年度長万部町水道事業会計剰余金の処分について

令和3年度の長万部町水道事業会計未処分利益剰余金六千五百一十四万七千九百九十三円のうち三千三百五十万円を組入資本金として処分することについて、地方公営企業法第三十二条第二項の規定に基づき議会の議決を求めるものです。

◆令和4年度一般会計補正予算（第八号）

令和4年度一般会計予算の歳入歳出それぞれ四億三千八百七十五万四千円を追加し、予算総額六十六億三千八百八十八万円となりました。

補正のおもなものは、歳入が地方交付税や繰越金などの追加、歳出は予防費、商工振興費などの追加です。

◆令和4年度国民健康保険特別会計補正予算（第二号）

令和4年度国民健康保険特別会計予算の歳入歳出それぞれ二十一万千円を追加し、予算総額七億四千五百八十一万

千円となりました。

◆令和4年度介護保険特別会計補正予算（第二号）

令和4年度介護保険特別会計予算の歳入歳出それぞれ五千四百六十四万円を追加し、予算総額九億四千七百三十三万四千円となりました。

◆令和4年度公共下水道事業特別会計補正予算（第一号）

令和4年度公共下水道事業特別会計予算の歳入歳出それぞれ二十八万六千円を追加し、予算総額四億七千八百六十三万二千円となりました。

◆令和4年度ガス事業会計補正予算（第二号）

令和4年度ガス事業会計予算の収益的収入に六百万円が追加され、予算総額一億六千八百四十四千円、収益的支出に百万円が追加され、予算総額一億三千七百九十四万三千円となりました。

◆令和4年度水道事業会計補正予算（第一号）

令和4年度水道事業会計予算の収益的収入に二千七百八十三万円が追加され、予算総額一億八千七百六十八千円、収益的支出に三千三十万円が追加され、予算総額一億七千八百九十七万三千円、資本的収入に九百六十八万円が追加され、予算総額千七百七十五万三千円、資本的支出に八百八十万円が追加され、予算総額

六千六十三万円となりました。

◆令和4年度病院事業会計補正予算（第一号）

令和4年度病院事業会計予算の収益的収入に百万円を追加し、予算総額七億九百九万五千円となりました。

◆令和4年度一般会計補正予算（第九号）

令和4年度一般会計予算の歳入歳出それぞれ四千九百七十五万円を追加し、予算総額六十六億八千六百三十三万円となりました。
補正のおもなものは、歳入が財政調整基金繰入金金の追加、歳出はガス・温泉管理費などの追加です。

木幡町長の

行政報告

=令和4年9月8日=

水柱対策

八月八日午後五時頃、住民

から役場に通報があり、飯生神社前の林地から、地下水と思われる液体が三十メートル以上の高さまで吹き出している状況を確認いたしました。
昭和三十年代に廃止井となっているR五号井から噴出していると推測され、天然ガス等を含んでいる可能性があるため、警察・消防等の協力をいただき、半径約五十メートル範囲の立ち入りをバリケードで規制し、取り急ぎ付近住民のみなさまには防災ラジオで状況を周知いたしました。

確認後は、自噴状況や可燃性ガス濃度測定、道路排水、他井戸等を担当課で一日三回以上巡回し、安全状況の確認を行っており、保健所、経済産業局、産業保安監督部、渡島総合振興局等の関係機関と連携し、今後の対策を検討しております。

噴出口付近は可燃性ガスが検出されていることから立入規制を継続し、住宅地は風向きにより微量なガスを検知する可能性もあるため、ガス検知器等により安全確認を行っております。

また、東京理科大学や道立総合研究機構、各種関係機関等の見識者、専門家の方々にご協力いただき、地下水噴出を収めるための対策について検討しておりますが、噴出圧力が非常に高いため、強行的に作業を実施することは大きなリスクがあるという見解で

◆長万部町議会議員及び長万部町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例
国政選挙の公営に要する経費の限度額が公職選挙法施行令の一部改正により引き上げられたことから、同施行令に準じて選挙運動用自動車、選挙運動用ビラ及びポスターの公費負担の限度額を引き上げるため条例の一部を改正するものです。

◆長万部町立振興会館条例等の一部を改正する等の条例
新開寿の家と南栄町老人憩の家を統合した中規模集会施設建設に伴い、関連する条例の一部改正と廃止をするものです。

◆職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
国家公務員に係る妊娠・出

あります。

町では、地域住民の安全確保を大前提として、周辺地域の騒音測定や噴出水の水質検査を行いました。

水柱付近住宅地の騒音測定では、八月十九日の測定値は約六十八デシベルで、静穏時では三十から四十デシベルのため、うるさいと感じるレベルであります。

八月二十二日に判明した検査機関による水質検査は、水温二十一・五度の低温泉水で、人体に影響を及ぼす程の有害物質は検出されておられません。食塩泉であることから塩害の問題が懸念されます。

この結果から、ごう音と周辺民家に飛散している噴出水の対策を早急に行うため、八月二十二日、簡易なものではありませんが試験的に噴出口を防音シートで囲む処理を行っております。

今後は、高さ十五から二十メートル程度の防音壁や飛散防止ネットの整備を計画しており、現在早期着工に向けその工法等を検討しております。見学者の対策としてましては、飯生神社周辺の町道が駐車車の車などで混雑し、交通事故発生の可能性があることから、スポーツセンターなど公共施設駐車場を利用するよう案内をし、八月十二日から町職員や交通誘導警備員を配置して対応しております。八月十八日、民地への立ち入り防止看板、B&G海洋セ

ンター付近の町道へ路上駐車禁止看板を設置、八月二十四日には神社下団地入口町道へ路上駐車禁止看板を設置しております。

また、住民のストレス緩和、健康維持のため、長万部振興会館を「ごう音対策避難所」として平日八時三十分から十七時の間開放しており、希望者につきましては時間外の利用や宿泊も可能としております。

八月三十日には、対策会議を「水柱対策本部会議」に格上げし、住民のケア、ごう音対策、噴出水対策等に最善を尽くすため体制の見直しを行い、全庁一丸となつて取り組んでまいりますので、みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

なお、関連する費用についての補正予算を本定例会に提案いたしております。

財政関係

本年度の普通交付税交付額は、七月二十六日に決定されました。

普通交付税の算定結果は、基準財政需要額二十九億八千五百五十三万三千円から基準財政収入額六億七千九百八十四万九千円、調整額二百四十六万六千円を控除した二十二億九千九百二十一万八千円が交付額となり、前年度と比較して二・三%、五千三百八十六万六千円の減額となりました。

新型コロナウイルスワクチン接種事業

六十歳以上及び十八歳以上六十歳未満で基礎疾患を有する方等を対象とした四回目接種につきましては、八月末現在千九百七十三名の方に接種を実施しております。

現在、国においては、オミクロン株に対応したワクチンを使用した追加接種について議論が行われており、接種を実施するかどうかは引き続き議論されております。

今後、オミクロン株対応ワクチン接種が、予防接種法に基づく予防接種に位置付けられた場合、速やかかつ円滑に接種を開始するための体制を整えておく必要があることから、関連する費用についての補正予算を本定例会に提案いたしております。

東京理科大学関係

令和五年度からの長万部キャンパスの利用再開について、浜本理事長より連絡があった内容を報告いたします。

新型コロナウイルス感染症の影響により、全寮制教育を一時中止しておりました長万部キャンパスについて、令和五年度より感染症対策を講じたうえで、長万部キャンパスの利用を再開する予定とのことであります。今後の新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、予定が変更となる

場合もあるとのことですが、大学としても万全の準備を整え、来春には無事に経営学部国際デザイン経営学科の学生を、長万部キャンパスに迎え入れたいとのことであります。こうした大学の決断に対しては、賑わいの創出と町の活性化に繋がるものであり、喜びと歓迎をお伝えいたしました。

この事業を推進するため、町が東京理科大学との連携により地方創生事業として取り組んだ「再生可能エネルギーを活用した先進的アグリビジネスプロジェクト」で、中心的な役割を担っております。総合エネルギー事業も展開しているアストマックス株式会社と「持続可能なまちづくりと脱炭素化・再生可能エネルギー推進」に関する包括連携協定を締結しました。

脱炭素化・地域レジリエンス強化の推進

国では、二〇五〇年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す「二〇五〇年カーボンニュートラル」を宣言しております。このため環境省においては、自治体の公共施設における再生可能エネルギーの率先導入が掲げられました。このことから、今年度の町の取組として、昨今の災害リスクの増大に対し、災害・停電時に公共施設へのエネルギー供給等が可能な再生エネルギー等を整備することにより、地域の脱炭素化と地域のレジリエンスの同時実現を目的とした事業に取り組むことといたしました。

この事業により、町の公共施設における将来的な電力費用の低減及び平時の温室ガスの排出抑制に加え、災害時に

北海道新幹線関係

現在、町内では五つのトンネル工事が施工中であり、九月一日現在において、掘削中の立岩トンネルのルコツ工区では、本坑五千メートルのうち四千二百九十八メートルが、豊津工区では二千六十五メートルのうち千二百七十一メートルが掘削されており、

また、内浦トンネルの静狩工区は、本坑五千五百七十メートルのうち二千八百三十九メートルが掘削されております。さらに、豊野トンネル外一箇所では本坑二千二百五メートルのうち二千二百八メートルが、国縫トンネルにつきましても本坑千三百四十メートルのうち千二百二十八メートルが掘削されているところであります。

新幹線長万部駅 前周辺整備

土地区画整理事業予定区域内の権利者向けの説明会を、七月五日にあつまんで開催し三十四名の出席がありました。事業の仕組みや特徴などについて専門家を招いて説明し、事業への理解と協力をお願いしたところであります。

また、新幹線駅デザイン検討委員会において、今年度は、新幹線高架下の滞留空間についての利用方法を検討する予定であり、昨年度に引き続き、長万部高校生に委員の募集を行い、四名の応募があったところであり、この高校生委員が参加する視察研修を七月二十五日、二十六日の二日間で行い、青森県青森市及び八戸市の新幹線駅や、駅前周辺の滞留空間について先進事例の取組を視察してまいりました。

老人福祉関係

六十歳以上の高齢者を対象とした町内温泉施設の入浴料助成事業につきましては、八月末現在七百八十八名の方に申請をいただき助成券を交付しております。

地域敬老会につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和二年度、令和三年度は開催をお願いできておりませんでしたが、本年度は、地域のみなさまの手作りにより、高齢者の長寿を祝福し、社会に貢献した労をねぎらうため、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を図り地域敬老会を開催する場合は、令和元年度と同様に、また、地域敬老会開催の代替として記念品等を配布される場合は、昨年度と同様に補助金を交付することとし、各町内会等へお願いいたしました。

原油価格の高騰等による様々な支出の増加に鑑み、高齢者や障がい者で低所得の状況にある方に、物価高騰の影響緩和を行うことで在宅福祉の向上を図ることを目的に、北海道における市町村高齢者世帯等生活支援事業補助金を活用し、令和四年六月一日を基準日として、六十五歳以上の高齢者世帯または障がい者世帯のうち、市町村民税非課税世帯に対し「高齢者世帯等生活支援給付金」として一世帯あたり二万円を支給いたします。

地域会館関係

ます。
なお、関連する費用についての補正予算を本定例会に提案いたしております。

新開寿の家と南栄町老人憩の家を統合した中規模集会施設につきましては、建設工事を八月三十一日に完了しております。

新しい施設利用につきましては、引っ越し等の完了後の十月一日使用開始予定として、関係する条例の一部改正等を本定例会に提案いたしております。

生活環境関係

長万部墓地排水設備改修外工事につきましては、八月四日で完了しております。

山越郡衛生処理組合から引き続き進めました、し尿処理施設につきましては、うちうらクリンセンターの解体工事を十一月十五日までの工期で施工中であります。

農業関係

家畜の主たる飼料作物の牧草は、八月十五日現在の生育状況調査では、二番草収穫作業が平年よりもやや遅れており、サイレージ用とうもろこしの生育状況は平年よりやや早く進んでおります。
生乳生産の一月から七月末

までの出荷量は五千四百四十八トン、乳代は四億八千七百三十三万円となっており、前年同期と比較して出荷量は二百二十七トンの減少となり、乳代は二千五百四十万円の減額となりました。

黒毛和牛の一月から七月末までの販売頭数は百二十三頭、販売金額は八千七百七十四万円となっており、前年同期と比較して販売頭数は六頭の減少となり、販売金額は千三百五十一万円の減額となりました。

林業関係

町有林一般造林事業の下刈事業は、共立地区十九、四二ヘクタール、平里地区三ヘクタール、富野地区三ヘクタールを八月一日に完了しております。

森林整備センターとの分収造林事業の下刈事業は、豊津地区二十ヘクタールを七月八日に完了しております。

道営事業で進めている森林基幹道豊津・黒岩線の林道整備事業は、六月二十三日に着手しております。

有害鳥獣駆除対策

今年もヒグマやキツネ、エゾシカなどに加えて、特定外来生物であるアライグマの出没も見られる状況であり、鳥獣被害防止対策協議会と連携し、今後もヒグマなどの有害

鳥獣による人畜及び農林業等への被害を防止し、住民の生活安全を図ってまいります。

漁業関係

漁業関係全体の一月から七月末までの水揚げ実績は約五十三億円となっており、前年同期と比較して約十七億円の増額となりました。

このうち、ホタテ貝の生産量は一万五千九百八十六トン、前年同期と比較して九・六%増加しております。また、水揚げ実績では約五十二億円、前年同期と比較して五十二%増加しております。価格上昇の要因としましては、新型コロナウイルス感染症の影響による中国など海外の消費低迷が解消されつつあることや、管外から移入された稚貝の生育が比較的良かったことが考えられます。

ホタテ貝養殖漁業における地場採苗の状況は、六月から投入した採苗器には、多くのホタテ貝種苗が付着しているのが確認されております。しかし、付着したばかりの種苗は、最も弱い時期でもあり、慎重な取り扱いが必要となりますので、各関係機関と連携を図り、生育動向を注視してまいります。

国のアイヌ政策推進交付金を活用し、長万部産ブランドホタテ貝「湾宝」のPR活動を行っている「長万部ホタテ貝アイヌブランド化推進協議

会」は、七月二十八日に長万部漁港内にて、当町にゆかりのあるタレントのバービーさん را 招き、湾宝アンバサダーと開催し、町民との交流会を開催し、湾宝ブランド化プレスリリースイベントを開催し、メディア関係者へのPR活動をいたしました。今後は、さらなるPR活動を進めながら、商品開発及びイベント等を開催してまいります。

北海道が事業主体となり、水産物供給基盤機能保全事業で行う老朽化した長万部漁港の保全工事は、昨年度に引き続き、岸壁等の補修工事が施工されており、国縫漁港橋梁補修工事につきましても昨年度に引き続き施工されております。同じく、北海道が事業主体となり、漁村再生交付金事業にて行う大中漁港内用地改良工事につきましても施工が開始されております。

商工観光関係

商工観光全般においては、長期に及ぶ新型コロナウイルス感染症の影響に加え、ウクライナ情勢に端を発した国際情勢の変化により、中長期的にはエネルギーや原材料等の価格・供給動向は見通せず、円安基調と相まって、事業者の経営環境や地域住民の生活はこれまで以上に厳しくなることが懸念されております。

その支援方策として、昨年度に引き続き商工会員の経営の安定化や経営の改善等を図るため、商工事業者経営改善等支援事業を実施したところ、本年度は二十事業者が申請し、そのうち十一事業者が採択となり、経営改善に努めております。

また、さらなる支援方策として、低迷する地域経済の消費喚起を目的として「くらし応援商品券第二弾」と称し、一人あたり一万円分の地域商品券を全町民へ配布するため、関連する費用についての補正予算を本定例会に提案いたしております。

なお、これらの二事業につきましては、地方創生臨時交付金を活用する予定でおります。

商工観光振興の一環として実施されております「おしゃまんべ毛がにまつり」は、昨年に続き中止となりましたが、代替措置として今年も感染症対策を行ったうえで「毛がに即売会」を開催し、小サイズを二ハイ三千五百円で三店舗各三百組を販売したところ、三十分程度で全ての店舗で完売いたしました。即売会を実施したことにより、長万部の毛がにブランドを維持することができたものと考えております。

長万部駅舎内に設置されております観光案内所インフォマンべでは、長万部観光協会が、引き続き本町を訪れる観

光客への町内観光地の情報提供、長万部温泉、二股ラジウム温泉の案内、飲食店や販売店の紹介等、積極的な観光アピールを行うとともに特産品の販売を行っており、さらなる事業展開及び計画等を検討しております。

合宿誘致事業は、長年にわたり長万部温泉利用協同組合が積極的に誘致活動に取り組んでおりますが、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、全ての合宿が中止となっております。

建設関係

建築事業では、北海道新幹線建設に伴う町営住宅南部団地解体工事、新開公園廃止撤去工事を令和五年一月三十一日までの工期で発注しております。また、町営住宅はまなすシルバーハウジング非常灯交換工事は、十月三十一日までの工期で施工中であります。その他、各公共施設や町営住宅の修繕工事につきましては、計画的に実施しております。

土木事業では、国の社会資本整備総合交付金事業を活用して実施するカマツオナイ橋外修繕設計業務委託は、令和五年一月三十一日までの工期で実施中であります。

道路維持関係では、町道中山大通線外舗装補修工事は十一月十八日まで、管内道路排水等清掃業務は十一月三十日

まで、町道北九号線側溝取替工事は十二月三十日まで、それぞれの工期で実施しております。その他、道路、側溝等の維持補修等につきましては、計画的に実施しております。

また、八月十六日に発生しました大雨による町道及び普通河川等の被害につきましては、町道浅見線が一部崩落したのを始め、複数の町道・河川での被害が出ておりますが、現在調査中であるため、全容を把握できしだい復旧対策を講じてまいります。

公共下水道事業

公共下水道汚水管路（一・三号幹線系統）カメラ調査外業務委託は、十一月三十日までの工期で実施中であります。また、終末処理場マンホール廻り舗装修繕工事及び下水道マンホール蓋交換修繕外工事は、十二月十日までの工期で施工中であります。

水道事業

長万部地区浄水場負荷開閉器取替工事は、九月三十日までの工期で施工中であります。また、静狩地区浄水場水源調査工事につきましては、十二月十五日までの工期で施工中であります。

病院事業

町立病院では、新型コロナウイルス感染症に対して発熱外来での診療を続けており、町内での感染拡大時には診療体制を整えるため、一部外来診療を休診するなどの対応をとっております。

今後も感染状況を確認しながら随時対応してまいりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

消防関係

八月末現在までの火災件数は三件で、うち、野火が二件、車両火災が一件発生しております。

救急件数は二百十七件で、うち、急病が九十九件、交通事故が九件、一般負傷が三十三件、その他転院搬送などが七十五件で、ドクターヘリによる搬送が四件となっております。

八月六日に予定しておりました体験型イベントの、おしゃまんべ消防フェス二〇二二、九月三日に予定しております。長万部町消防訓練大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から昨年度に続き中止しております。